北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	応用経済B	科目コード	1162	単位数	2
担当者名	李　炯直	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	B,F	実務経験	無
ナンバリング	DEc606	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

マクロ経済学の基礎知識を英語で学び、その知識を基に実際の経済分析への応用力や、日本が直面しているさまざまな経済面の課題を発見・解決する能力を身につけることを目的とする。

到達目標

①経済学の数理的・理論的な知識を身に付け、様々な経済の動きが理解できる
②英語でマクロ経済学の基礎を学び、英文のニュース記事や学術論文で紹介される多様な経済動向を正確に把握する力を身につけることを目標とする。

授業内容

1週目 Study Guide and Introduction to "Applied Economics B"
2週目 Understanding Mathematics for Applied Economics B ①：Ratios and Percentages
3週目 Understanding Mathematics for Applied Economics B ②：A Linear Equation and Calculating the Slope of a Line
4週目 Types of Economic Graphs
5週目 Market Surpluses
6週目 Deadweight Loss by Government Actions
7週目 Mid-term Exam ① and Review of Government Actions in Markets
8週目 Production Possibility Frontier
9週目 Economic Growth
10週目 Three Equivalence of National Income
11週目 The Measurement of GDP
12週目 Real GDP versus Nominal GDP
13週目 Mid-term Exam ② and Review of Production and Growth
14週目 GDP and the Quality of Life
15週目 Final Exam and Summary of the "Applied Economics B"
16週目 講義全体に対するフィードバック（テスト返却や講評等）の実施。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う（※１６週目の開講は任意とする）。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：本学のEラーニングシステム(manaba)またはGoogle Classroomを利用し、毎週事前に提示される次回の講義資料を読むこと。（必要な予習時間：1時間以上）
復習：毎回の講義中に提示される復習課題を完成し提出することや、講義内容のまとめノートを作成すること。（必要な復習時間：1時間以上）

成績評価の方法・基準

中間テスト：40%(＝2回×20%)
期末試験：40%
課題：20%(＝10回×20%)

履修上の留意点

本講義は主に英語で行われるため、履修には英語でのコミュニケーション能力や英文の読解力が求められる。
授業中、事前許可なしでの通話、写真撮影eなどの携帯電話使用は厳禁。
2回の「遅刻」もしくは「早退」は1回の「欠席」取扱いとする。
成績評価は、出席率3分の2以上の学生を対象とする。

課題に対するフィードバックの方法

採点を行い、点数とコメントを本学のEラーニングシステム（manaba）もしくはGoogle Classroomを通じてフィードバックを行う。

テキスト

特になし。
必要なゼミ資料は本学のEラーニングシステム(manaba)もしくはGoogle Classroomを利用し配布する。

参考書

ポール・クルーグマン（2026）『クルーグマン　ミクロ経済学[第3版]』（東洋経済新報社）4,620円

更新日付

2026/01/24 09:03